

[In Chinese - 中文版](#)[In English](#)[In French - en français](#)[In German - auf Deutsch](#)[In Italian - in italiano](#)[In Japanese - 日本語で](#)[In Korean - 한글](#)[In Russian - на русском](#)[In Spanish - en español](#)

IFCM Eニュース2020年11月

**IFCMからのお知らせ**

**世界合唱の日——2020年のこの祝祭に参加する4つの方法**  
 新型コロナウイルスの世界的感染拡大というこの特殊な状況に鑑み、世界合唱の日（WCD）の30周年に当たる今年、このイベントに参加する方法が4つ用意されていることをご存知でしょうか？ 従来どおりのコンサート、バーチャル・コンサート、バーチャル合唱団プロジェクト——これらのいずれのかたちでも、みなさんは今年のこの祝祭に簡単に参加することができます。また、WCDのロゴと声明文を挿入しさえすれば、過去の演奏の動画で参加することも可能です。2019年の形式に準じて、30周年の世界合唱の日の期間は、2020年12月の丸1カ月間とします。これによって、どの方法をとるにせよ、各合唱団はより長い期間、参加の機会を与えられることとなります。ぜひこのプロジェクトの詳細をウェブサイトでごらんください。[website](#)  
 みなさんのイベントやプランをこちらでご登録ください。[here](#)  
 歌への渴望を分かち合いましょう！



### カタール、ドーハの世界合唱シンポジウムからのお知らせ

カタールの合唱チームが、非アラブ系合唱者のためのアラビア語字訳法を開発中。さらなる協力者をさがしています。

カタール・コンサート・クワイアは、非アラビア語圏の歌手がアラビア語をより正確にたやすく発音できるようになることをめざし、アラビア語（標準語と方言）の国際音声文字表記を声楽用に改変する新たな方式を開発しようとしています。現在、彼らは、当地の多くの合唱人や言語学者と共同で作業に当たっていますが、さらに、この分野での経験をお持ちで、お手伝いいただける方がいれば、連絡を取り合いたいと願っています。

気がつけば、カタール・コンサート・クワイア（QCC）は、団員の大部分がアラビア語を話さない人々でありながら、アラブの主要な合唱曲を練習しているという特異な立場にありました。国際音声文字やその他のアラビア語用の既存の字訳法が、歌を歌う際にうまく機能しないことは、早い時期から明らかになっており、これまで合唱曲の編曲者の多くは、アラビア語を





歌いやすく表記するために、国際音声文字を改造したり自分なりの方式を編み出したりしてきました。その結果、アラビア語には、アラブの合唱曲の編曲者や作曲家とほぼ同じ数だけの字訳の方式が存在しています。こうした表記の不統一は、正確性や利便性という点で、QCCの大多数を占める非アラブ団員にとって大きな問題となっています。

この問題に取り組むために、QCCは団内でメンバーを募り、それぞれ異なる地域の出身のアラビア語の母語話者と言語学教授1名から成るチームを作りました。以来このチームは、ハイブリッド型の字訳法を考案すべく力を合わせて働いてきました。そして、国際音声文字を土台とし、この地域の合唱団や編曲者がすでに使用しているさまざまな方式を組み込んで、新たな発音記号表を作りあげたのです。これらの記号は、左から右へと書かれ、西洋式の記譜法に合い、維持する音と変化する音、二重母音の位置を明確に示し、それぞれの音にひとつの記号を用い、アラブの複数の方言に対応しうるものです。目下、彼らはこの字訳法を用いてQCCの現在の全レパートリーを書き換え、アラビア語を母語としない歌手たちがその正確な発音を合理的に習得できるようにしているところです。

QCCの首脳部は、同じ問題に取り組んできた方々や合唱曲のアラビア語の歌詞を表記するために独自の字訳法を開発した方々と連絡を取り合いたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。(info@qatarconcertchoir.com)

### 2020年中国国際合唱祭からのお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大のさなかにある2020年、第15回中国国際合唱祭はオンラインのフェスティバルとなりました。ところがこの変更はむしろ、合唱祭の人気を高めるのにひと役買ったようです。2020年10月5日にストリーミング配信された開会式は、視聴数が1億2000万を超え、この合唱祭の歴史上最高の数となりました。2020年は、ウィーン少年合唱団、エストニアン・ヴォイセス、北京フィルハーモニー合唱団など、中国内外から20を超える一流合唱団がこの合唱祭に参加しました。

開会式の司会者は物理的にはふたつの異なる場所にいましたが、インターネットの力によって、互いを隔てる大きな距離にもかかわらず一緒に司会をすることができました。かの有名なレインボー・チェンバー・シンガーズの創設者、Jin Chengzhiは上海に、北京のテレビ司会者、Eva Mayはウィーンにいたの

です。この開会式でもっとも感動的だったのは、北京病院合唱団による演奏です。彼らはこの演奏により、新型コロナウイルスと最前線で闘うすべての医療従事者に監査と敬意を表しました。また、国外の合唱団のいくつかが中国の有名な歌を歌いました——ウィーン少年合唱団は「I love you, China」を、韓国の合唱団のひとつは「月は私の心」を中国語で。開会式の締めくくりは、合唱の力を讃える「We are the world」の演奏でした。

[CICF website](#)



### 世界青少年合唱団(WYC)オンライン・レセプション

2020年9月16日、ヨーロッパ合唱連盟

([European Choral Association – Europa Cantat](#)) は、世界青少年合唱団財団理事会、および、セッション・マネージャーのイネス・モレイラの協力のもと、今後、世界青少年合唱団([World Youth Choir](#))の募集協力者や支援者となりうる方々を対象にオンラインのレセプションを催しました。このレセプションは、EUのプログラム、クリエイティブ・ヨーロッパ([European Union Creative Europe](#))が共同出資する、ヨーロッパ合唱連盟の多年度協力プロジェクト、[EP:IC](#) (新進のプロフェッショナル：音楽キャリアの国際化)の一環として実施され

**EP:IC**  
Emerging Professionals  
Internationalisation of music Careers



Co-funded by the  
Creative Europe Programme  
of the European Union

ました。EP:ICは、新進の音楽家に貴重なスキルとプロとしての経験を供与することで、学校でのトレーニングを補完し、各々のキャリアを国際レベルまで押しあげようというプロジェクトです。集団による音楽づくりが人々や国家を結びつけるパワフルなツールであるという理解に基づき、EP:ICプロジェクトは、オーディションのある青少年音楽グループのプロ化、および、国際化の意義と影響力を評価し、証明することをめざしています。またこのプロジェクトは、新進のプロのためのトレーニングを改善し、ヨーロッパ全土で新グループ結成を促進する役割も果たしています。

WYCオンライン・レセプションの目標は、才能ある若い歌手のプロ化・国際化に大きく貢献するプロジェクトとして、世界青少年合唱団を紹介することでした。若いころこの特別な合唱団で得た経験のおかげで、その団員の多くが世界各地で著名なプロの歌手になっていることについては、強固な証拠があります。これに加え、今回のレセプションは、未来の支援者、プロモーター、セッション・マネージャーに世界青少年合唱団を宣伝するよい機会となりました。

ゲストのみなさんは、世界青少年合唱団のプレゼンテーションを見てその活動を知り、このプロジェクトの裏方たちと会い、元団員らの感動的なスピーチを聴くことができました。これらの元団員は（残念ながら中止となりましたが）ベートーヴェン生誕記念BTHVNの一環である2020年の特別プロジェクト、ドイツ連邦青少年管弦楽団との共演にソリストとして招かれていた人たちです。彼らは、世界青少年合唱団に参加したことが自分たちのプロとしてのキャリアや他のプロたちとの国際的なつながりにどれほど大きく影響しているかをゲストのみなさんに語りました。また、生演奏は行えないため、このレセプションでは、WYCのOG・OBにより結成されたバーチャル・クワイアが「アイリッシュ・ブlessing ([An Irish Blessing](#))」を演奏する動画を楽しんでいただきました。これは、過去のWYCのセッション ([past WYC sessions](#)) のすべてで重要な役割を果たしてきた歌です。ゲストのみなさんには、それ以外のWYCの動画やこの団のことがよくわかる情報にアクセスするた



めのリンク ([link](#)) もご紹介しました。最後に、ゲストの一部の方々は財団の理事やセッション・マネージャーと集い、小グループごとにより親密に話をしました。このグループ・ディスカッションではよいアイデアがたくさん飛び出したので、それらの提案については今後、世界青少年合唱団財団理事会が検討していきます。

世界青少年合唱団をなんらかのかたちで支援したい方、または、この団のセッションのホストを務めるのがどういうことなのか詳しく知りたい方は、[manager@worldyouthchoir.org](mailto:manager@worldyouthchoir.org)にメールを送り、WYCオンライン・レセプションの録画へのリンクをお求めください。



## IFCM創設メンバーからのお知らせ



ア・クール・ジョア・インターナショナルからのお知らせ  
合唱連盟、ア・クール・ジョア・インターナショナルがウェブサイトを開設しました。[www.aceurjoieinternational.org](http://www.aceurjoieinternational.org)  
問い合わせ先：[info@aceurjoieinternational.org](mailto:info@aceurjoieinternational.org)

ヨーロッパ合唱連盟(ECA-EC)

ヨーロッパ合唱曲作曲家賞の結果

ヨーロッパ合唱連盟 ([European Choral Association - Europa Cantat](http://www.eurocantat.org)) は、ヨーロッパ全土の団体会員に、最近作曲された合



楽曲を提出するよう呼びかけ、国際コンクールを行いました。国際的に著名な指揮者・作曲家によって構成される審査団、ジュゼップ・ビラ・イ・カザーニャス（スペイン）、ショーン・ドハーティ（アイルランド）、カリン・レーンクヴィスト（スウェーデン）、タデヤ・ヴルツ（スロベニア）、エリクス・エゼンヴァルス（ラトビア）が、受賞作として以下の作品を選びました。

- ・ A部門（アカペラ作品）：Amor, io fallo Jan Van der Roost（ベルギー）作
- ・ A部門（佳作）：Sanctus amor Hans Helsen（ベルギー）作
- ・ B部門（伴奏付き作品）：Autumn soils Maarten Van Ingelgem（ベルギー）作
- ・ B部門（佳作）：How sweet the moonlight Vigdis Hansa Elst（ベルギー）作

各受賞作は、2021年にスロベニアの首都リュブリャナで開催されるヨーロッパ・カンタートで演奏されます。プレス・リリース全文をこちら ([here](#)) でお読みください。

### 全米合唱指揮者協会(ACDA)

ACDA全国大会“音楽における多様性” ([ACDA National Conference – “Diversity in Music”](#)) (2021年3月17日～19日、テキサス州ダラス)

このカンファレンスは、バーチャルで行われます。現在、運営委員会がその具体策を検討中です。参加申し込みの受付は11月に開始します。とりわけ嬉しいのは、カンファレンスにおける活動のひとつ、学生リーダーシップ・アカデミーが正式に発足することです。これは合唱を学ぶ学生専用と考えられたプロジェクトです。今後の情報にご注目ください。

パンデミックのさなかにある合唱のプロのための情報源

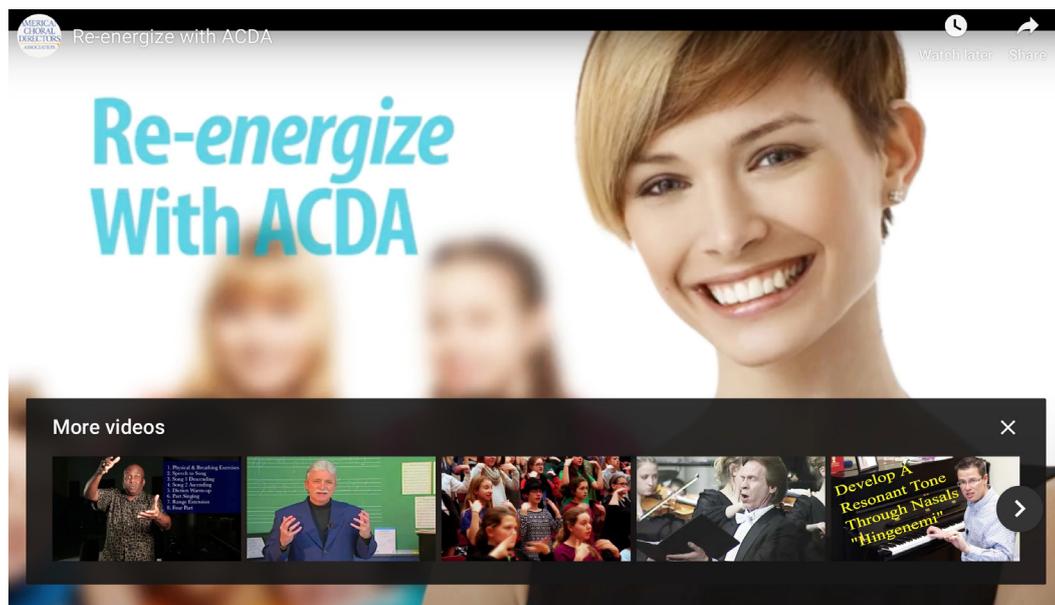
([Resources for Choral Professionals During the Pandemic](#))

ACDAは、特に合唱指揮者と合唱指導者のために、情報、アイデア、ツールのページを作成しました。その大部分は無料で、ページは定期的に更新されます。そこには、ACDA会員、ドクター・レベッカ・ロードが作成した「合唱団のイベントや声楽曲／合唱曲の講座のために、オンラインでゲスト出演

してくれるアーティストの生データベース」も載っています。この名簿には、指揮者、作曲家、声楽家、器楽奏者、音楽テクノロジーの専門家の業種別リストがあり、登録者の経歴、専門分野、講師またはインタビューのゲストとなる意志の有無、訪問を希望するグループの種類、問い合わせ先、料金（任意）といった情報が提供されています。これは、合唱をめぐる状況がどうあれ、合唱関連の講座、イベント、地域や教会の合唱団のためにゲストになろうという多種多様な専門家たちが網羅されたすばらしいリストです。

こちらでその名簿をごらんください。 [Visit the directory](#)

ACDAの作成した、新型コロナウイルス・パンデミック期における合唱の実践と研究のためのガイダンス、COVID-19対策委員会報告書 ([The COVID-19 Response Committee Report](#)) (2020年6月15日)



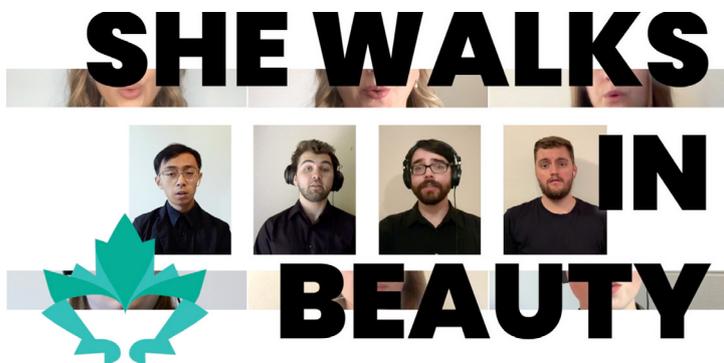
## IFCM会員からのお知らせ

### コーラル・カナダからのお知らせ

コーラル・カナダ ([Choral Canada](#)) より、当協会初のバーチャル合唱団プロジェクト、カナダ青少年バーチャル合唱団の動画をふたつ、自信をもってお届けします。指揮者はジャン＝セバスチャン・ヴァレ、副指揮者はトーマス・バートンです。



第1の動画 ([first video](#)) は、2020年カナダ青少年合唱団による演奏で、曲は2020年コーラル・カナダ全国合唱作曲コンクールの優勝作品、ケヴィン・パーカー作「She walks in beauty」です。第2の動画 ([second video](#)) では、カナダ青少年合唱団のOB・OGが、クレイグ・ヘラ・ジョンソン作、オラトリオ「マシュー・シェパードに捧げる (Considering Matthew Shepard)」より「All of us」を歌っています。どうか、カナダの美しい風景とこの国の第一級の合唱歌手たちのすばらしい歌声をお楽しみください。



### AMJが、青少年合唱団のための合唱祭、第20回ユーロトレッフを開催します

2021年9月8日～12日、ドイツ、ヴォルフエンビュッテル  
このイベントの詳細、参加費、アトリエの内容については、[AMJ website](#)でご確認ください。参加申し込みフォームはこちらです。 [application form](#)

お申し込みの締め切りは、2020年12月15日です。

### 世界の合唱イベントカレンダー——2020年11月、12月

ヨーロッパ合唱連盟 (E C A - E C) 発行の合唱イベントカレンダー ([Calendar of Choral Activities](#))、および、全米合唱指揮者協会 (A C D A) のネットワーク、コーラルネット ([ChoralNet](#)) で、来月以降の合唱イベントをご確認ください。